

ぱーとなーず

vol. 54
2021.9

地域とけんみん信組をつなぐ情報誌

<発行所>
山梨県民信用組合 営業統括部
総合相談センター
〒400-0032 甲府市中央1丁目18-6
Tel. 055-233-4176



「吉田の火祭」は、夏の富士山の山じまいのお祭として行われる、北口本宮富士浅間神社と諏訪神社の二つの神社の秋祭りです。毎年8月26日、27日に行われてきましたが、昨年はコロナ禍により、富士山は開山されず、火祭も中止となり、今年度は2年ぶりの開催です。



吉田の火祭の大松明を奉納しました。

山梨県民信用組合は、地域の皆様を応援してまいります。

当組合は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



皆様のベストパートナーをめざして
YKS 山梨県民信用組合



ちかくにいるから、チカラになれる。

信用組合のシェア

社会で生活していくうえで欠かせない「預金」「融資」「為替」を取り扱う民間の金融機関には、株式会社の都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、ネット専業銀行、信託銀行、協同組織の信用金庫、信用組合、農業協同組合、労働金庫など様々な種類があります。

協同組織金融機関の信用組合は、人々が助け合うためにできた「相互扶助」を目的とした金融機関で、原則として、出資をして、組合員になっていただくことがお取引の条件となり、組合員になるには信用組合によって異なりますが、山梨県民信用組合の場合は、地域にお住まいの方や地域で勤務に従事する方、また、地域で事業を行う小規模の事業者等となっています。

様々な金融機関がある中で、山梨県内に店舗のある6つの金融機関(山梨中央銀行、甲府信用金庫、山梨信用金庫、山梨県民信用組合、都留信用組合、労働金庫)の令和3年3月末の預金の残高約4兆5千億円のうち、約15%が信用組合に預けられたものであり、約1兆8千億円ある貸出金の20%近くが信用組合から貸し出されたものとなっており、この貸出金のシェアは、信用金庫と同程度となっています。

中小の事業者への支援ということでみると、中小企業の皆様が融資を受ける際に利用する山梨県信用保証協会の令和2年度の平均保証債務残高(平均保証債務残高の件数が100件以上の金融機関に限る。)は、約2,200億円で、このうち、信用組合から融資されているものが21.8%を占めており、全国の平均保証債務残高における信用組合の占める割合の4.0%に比べ、本県においては、大変大きな割合で信用組合が中小企業の皆様にご利用いただいている状況となっています。また、令和2年3月から、令和3年3月末までに実行されたコロナ関連制度融資の保証件数は12,283件で、そのうち信用組合が融資したものは約30%(うち山梨県民信用組合20%)を占め、リーマンショック時の緊急保証の信用組合による融資の割合約26%と比べても、高い割合となっており、困ったときに信用組合を頼っていただいております。

今後も、山梨県民信用組合は県民の皆様を応援してまいります。

令和3年度 「しんくみの日週間」活動報告

毎年9月3日は「しんくみの日」です。この日を含む9月1日から7日の「しんくみの日週間」を中心に、全国の信用組合では、日ごろの感謝を込めて様々な取り組みを行っています。

当組合では、4月にSDGs宣言を行い、地域貢献に取り組むこととしたところであり、しんくみの日週間に合わせ、全店における清掃奉仕活動、献血者が減少している中での献血運動、さらにコロナ禍拡大を防ぐための新型コロナワクチン職域接種などの取り組みを行いました。



【献血の様子】



【本部の清掃の様子】



【職域での新型コロナウイルスワクチン接種】



【本店営業部の清掃の様子】



より良いサービスを提供します。



窓口係の意気込み!

金融機関の窓口で顧客の対応をする窓口係(テラー)は、預金の払い戻しや受け入れ、送金・振込みといった為替の業務を行うほか、預金や年金の相談を受け、商品のセールスを行うなど様々な知識を必要とする、顧客にとって金融機関の顔ともいえる職員です。

令和2年4月に当組合に入組し、窓口係で業務を行っている長坂支店の河西さん、川上出張所の山本さん、葦崎支店の横森さんに話を伺いました。

1年を振り返るとの感想は、「入組したての頃は、何をしたら良いか分からない状態でした。先輩方に頼ってばかりでした。先輩がセールスをしている姿を見て、奮起し、今では、通帳に残高があるお客様に定期預金を推進することが出来るようになりました。」(河西)、「繁忙日はどうしてもミスが増えてしまい、先輩方に迷惑をかけてしまいました。ただ、先輩から優しくアドバイスをもらい、同じミスをしないように心掛け日々業務を行っています。」(山本)、「はじめは、何でも先輩に確認をしながらでないとできなかった業務ですが、今では新規口座の作成、諸届の手続きと、一人でできる仕事が増え、自信を持って業務に励んでいます。」(横森)であり、日頃から職場の先輩・上司に、丁寧に業務を教えて

もらい、ミスした時は優しくフォローされているようです。また、時には仕事に対する厳しさを教えてもらい大変感謝している様子です。

三人に、これから挑戦したい事を聞いてみました。「FP(ファイナンシャルプランナー)3級は取得済なので、これから資格取得に励みたいです。また、相続手続をはじめ、一人で仕事が出来る様に知識をつけていきたい。」(河西)、「川上出張所は職員が少人数なので、長坂支店では経験が出来なかった事務や手続等があるので自分一人で業務を任せて頂けるように頑張りたい。」(山本)、「休眠預金や移管手続など、今まで手続きしたことのない事をチャレンジしていきたい。自分の知識、経験にしていきたい。」(横森)と意欲満点の三人で、ますますしっかり業務を覚え自立し、自己啓発にも取り組んでいきたいと意気込みを見せています。また、何年後かに先輩ができた際、三人が



【川上出張所 山本さん】



【長坂支店 河西さん(左) 葦崎支店 横森さん(右)】

指導してもらったように後輩にも教えていきたいようです。そのためには、まだまだ努力が必要と前向きに将来を考えています。

最後に、営業係として活躍している大勢の女性職員について聞いてみました。「営業職は今まで考えていなかったが、いつも営業成績を意識して仕事をされている姿は、カッコイイと思います。ただ、私たちには、想像できない苦労や大変さがあると思います。まず、窓口係で自立出来るように、日々努力していきたいです。そして、信用組合の業務を長年経験していく中で、営業係として挑戦したい気持ちになれば、思い切っただけでやってみようと思います。」(河西)、「山本・横森」と三人共、日々業務を覚える事に必死でありながら、当組合のお客様の為に貢献したい思いで頑張っております。

今後ともよろしくお願ひ致します。

マッチングを進めます

当組合では、現在、営業担当職員が融資相談やモニタリング等で事業者の皆さまを訪問した際にお受けした相談をデータベース化し、全職員がこれを見直し、これらの情報を必要とする先に積極的に提供するなどして、組合全体でマッチングを進め、全力投球でお客様のご要望のサポートに努めています。

これまで、仕入れ先を紹介してほしい、人材を紹介してほしい、土地を売りたい・買いたいなどの情報をもとにいくつものマッチングが成立し、お客様から喜ばれています。事業に関することをご気軽に相談ください。組合全体で、事業者の皆様を応援してまいります。

“フルール夢工房” 移転オープン

笛吹市石和町で花屋を営むフルール夢工房(鶴田悠代表)は、新型コロナウイルスの影響で売り上げが半分に落ち込む中で、アフターコロナを見据え、従来の貸店舗での営業では立ち行かなくなるのではとの思いから、店舗を移転し人の流れを変え、新店舗については店舗併用住宅で効率的な運営を行うこととして、国道140号(雁坂みち)沿いの物件をおしゃれにリノベーションし、職住一体の新店舗をオープンしました。

鶴田代表は、素敵な庭と器も展示できる広いスペースのある新店舗で、敷居の低い、気軽に来店してもらえる店づくりを目指し、植物に関する各種相談も受けたいとしています。

当組合では、鶴田代表の父親からの事業承継を含め、新店舗の移転オープンを支援しています。



【デザインされた看板】



【鶴田代表と石和支店 西山主任】

郡内の織物

「郡内」は、富士吉田市、都留市、大月市、上野原市と北都留郡、南都留郡を総称し、「国中」に對比される地域です。そもそも「郡内」という呼び方は、戦国時代から使われた歴史ある呼び方で、都留郡の領主だった小山田氏(おやまだうじ)が、自郡の意味で郡内と書いたのがおこりだといわれ、近世には谷村に藩庁が置かれ「郡内領」と正式にいわれるようになっていきます。

この郡内の地域では、古くから織物が行われており、律令制時代には、甲斐は布で税を納めることが記されています。山がちで耕地が少なく、多くが高冷地であることから、織物が農家の副業として行われていた郡内で、江戸時代初期に郡内領主となった秋元氏が養蚕と機械を奨励し、やがて郡内は南蛮渡来で経糸にも横糸にも練り糸を用い、独特の光沢と風合いのある海気(後に「甲斐絹」の文字があてられる。)などにより絹織物産地として有名になっていきます。郡内の絹織物は上等な織物としてもはやされ、江戸時代の里唄に「甲州みやげになにもろた郡内絹にほしぶどう」とブドウと並ぶ甲斐の名産品になっていたことがうかがえます。明治の時代になると、甲斐絹で培われた技術を生かして、洋傘地、洋服の裏地なども製造され、郡内の織物は隆盛を極めました。洋装の変化等もあり、第2次世界大戦前後に甲斐絹は終焉しました。戦後の「ガチャン」と機を織ると万単位のお金を稼ぐとして「ガチャ万」といわれる特需のブームを経て、甲斐絹の先染め、細糸、高密度等の手法や技術を引き継いだ郡内の織物が生産されています。郡内の織物お使いになつてみてください。



天野商店
(ほぐし工房)

先染め傘地製造卸の天野商店は、伝統技法のほぐし織を日傘用途に広く浸透させ、以前から継続して取り組んでいます。他社ではできない生地の提案を強めたいと、より薄い生地の開発を進めています。ほぐし織は、仮織りした生地にプリントを施した上で緯糸を抜き取ることでプリントされた模様が微妙にずれ、奥行きのある表情が付与できます。日傘用途でも人気を博してきましたが、これまでより薄い生地を打ち出すことで付加価値を高めています。

都留市境612 TEL.0554-45-3920



丸幸産業(株)

当社は、今年で52年目を迎えた小さな染色工場で、各種布地の製品染めや後加工、更に衣服の染め直しや希望者による染め物体験も行っています。今年1月からは、富士山駅ビル内にアンテナショップ染物SHOP「まるこう」を開店し、繊維品染色加工・Tシャツ、のれん等各種染物品販売を行っております。当社の得意とする染色技術により、染め上げた商品を取り揃えて皆様のご来店をお待ちしております。

富士吉田市上暮地2222-1 TEL.0555-23-5562



森島商店

江戸時代郡内織発祥の都留市の織物問屋です。経糸と緯糸の色や質からこだわって、機屋(はたや)さん、糸屋さん、染色屋さんなどの沢山の職人さんと共に美しく丈夫な生地を生産し、郡内織座布団、カーパー、小物等オリジナル商品を作り販売しています。

都留市つる4-7-4 TEL.0554-43-4926



(株)オヤマダ

当社は地場産業である織物業に先々代から従事する老舗織物製造業者です。主に服地、裏地の製造を行っていますが、様々な絵柄を織り込めるジャガード織の他、高度な技術が必要とする、ドビー織機を使用した無地、単色の製造も手掛けています。同製品は、高級ホテルのカーテンや寝具カバーなどにも使用されている高品質な製品であり、限られた業者にししか製造出来ないので、ご興味ございましたら、是非お気軽にご連絡下さい。

富士吉田市松山5-12-5 TEL.0555-24-1511



(有)エルモード
(鬢櫛繊維)

昭和20年、鬢櫛繊維 創業。寝装品を主力に製造販売。現在は道の駅つるにて、ストールを中心に販売しています。

都留市与繩618 TEL.0554-43-6047



(株)ミウラ

伝統ある郡内織物特有の製法である先染め織にて生地を製造して、主に座布団に仕立てている老舗織物業者です。染色加工を施された糸で織られた生地は、布地を後から着色する後染め製品と比べて、深みのある色合いと優れた質感を持ちます。既製品の他オーダーメイドの商品も生産可能ですので、ご興味おありの方は是非ご用命下さい。

富士吉田市緑ヶ丘2-1-8 TEL.0555-22-1566



【森島商店】 【(株)オヤマダ】

更なる飛躍を求め

(株)ビ・ボーン

ビ・ボーンの大切にしていることは、営業をお客様の相談役でありサポートであることと位置づけ、お客様のライフスタイルを理解し、ご要望を実現するための企画設計を行うという営業と設計におけるこだわり、現場監督をお客様の夢の実現におけるディレクターと位置づけ、立地条件等と要望を調和させる現場管理のこだわり、ログハウスを知り尽くしたスタッフによる木工事におけるこだわりで、多くのお客様に喜ばれています。



【宮下代表】



【お出迎いの看板】

世界で最も販売されているフィンランドのログハウスメーカーである「ホンカ」のディーラーとして、美しい富士山を仰ぎ見る山中湖畔のホンカデザインセンター(展示場)にオフィスを構え、別荘地であり、ログハウスに適した土地という地域特性を活かし、顧客の突っ込んだニーズに対応しながら、こだわりを持って事業を行っています。



【年を経て美化するログハウス】

コロナ禍の中、テレワーク等新しい生活・仕事様式、本社機能の地方移転の動き、テレワークの運用を支えるNET、IT技術の飛躍的進歩、これらを踏まえた住宅・仕事スペースの需要と、地方の良き、避暑地的な環境を求める意識の高まり等のマクロ的視点で捉えた外部要因を、追い風があると感じており、宮下代表は、素晴らしい環境を有しているこの地域への貢献を目指し、地元の木材を使用したビ・ボーンブランドを高め、更なる飛躍を求めて進んでいます。

富士吉田市の(株)ビ・ボーン(宮下峻吉代表)は、1990年設立、従業員16名の建築業の会社です。「ビ・ボーン」を英語表記すれば「be born」で、「今生まれる。さあ行こう」という意味合いで会社名としており、宮下代表の熱い思いが込められています。

ビ・ボーンの業務は、ログハウスの建築を主力とし、在来工法による住宅建築、増改築等を手掛け、営業から設計・施工の一連の流れで住宅等を提供しています。管理林業を家業とする家に生まれた宮下代表が、ログハウスに出会い、家業の一つとして始めたログハウス向けプレカット加工の事業が、管理林業が家業であったことを含め、様々な偶然を必然のものとして、現在の住宅事業としてのログハウスづくりに至っています。

に喜んで頂き、笑顔になってもらうこと、そして周りの人を笑顔にできないと考えると、お客様を笑顔にできないと考えると、ログハウス事業を営む会社として、従業員の物心両面の幸福、お客様への満足・お取引先様の繁栄による社会貢献を実現することを経営理念に掲げ、日本財団の「職親プロジェクト」にも参加し、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

素朴屋株

北杜市大泉町にある素朴屋株(今井久志代表)は、従業員15名で、伐採から設計・施工まで一貫通で手懸ける地元の工務店です。身近にある素材に良さを見出し、素朴な物を作っている今井代表に話を伺いました。



「素朴屋」の名前の由来は、素朴屋立ち上げ前の北都留森林組合に勤務していた時期です。伐採した木材を搬出できない山奥を担当しており、自身で持っていく木材で何か作れないかと試行錯誤しジャンベという外国の太鼓を試作しました。売り物には遠く及ばないものでしたが身近な素材を使って作ったジャンベに素朴さを感じ素朴屋という屋号を思いつきました。



【今井代表】

社長の経歴、素朴屋立ち上げの経緯等は、

大阪出身ですが父が転勤族で中学から関東に引っ越してきました。高校は都立大島南高校海洋科で、水産大学校水産科に進み船舶の勉強をしました。卒業後、長野県木曾郡にある大井木材に入社、林業の本場木曾の森林で経験を積み、退職して、バックパッカーとして単身カナダへ渡り現地のDainer Logitechへ入社し、主にバンクーバー島で米マツを伐採しログハウスの建設に携わっていました。

カナダで妻と出会い、帰国して、山梨県の北都留森林組合に入社し林業に従事し、その後、北杜市へ移り、甲斐市の藤原造林へ入社し、そこで県産のカラマツ、アカマツなどがアオ(カビ)や木の癖などの理由により建材として認知されていない現実を知り、また、日本の大工の高い技術力に着目する一方で日雇い契約や賃金形態に疑問を抱き始めました。

退職して、個人事業として素朴屋を立ち上げ、5年程一人で北杜市を中心に、草刈り、支障木の伐採等、色々な依頼をこなし、何でも屋として事業を行っていたうちに、今の素朴屋に繋がる農機具小屋を作った欲しいという仕事がありました。当時、個人での建築の経験は少なく予算20万円での依頼でしたが完成時には総工費40万円と利益も取れない仕事になってしまいました。しかし、この仕事で地元材を使用したことで、改めて地元材の可能性と魅力を感じ、今の仕事の原点となりました。



【地元産木材を使用した事務所外観】

会社の経営方針、こだわりの

木も人も良いところ、悪いところが混在しています。良い部分だけを集めれば当然良い物が出来る。良い、悪いが混在していることが素朴さだと思えます。会社にも得意な人が居て、それぞれの特徴、個性、味を出してチームとして仕事をすることを目標としています。

山梨県の木の魅力は、木にもその土地に合った、適地適木があります。北杜市はカラマツ、アカマツが多い地域です。寒い地域では木がゆっくりと育つことで木の密度が高く、素材として強いものになります。カナダで米マツを使ってログハウスの製作をしていたこともあり、和に収まらない魅力を感じています。

木が使われない現状をどう思いますか。

もともと地元の木材が地元で使われればいいと思っています。お客様にも地元や自分の敷地の木材を使って家を建てたいという需要はあります。また実際に地元の木を使って建てた側として魅力と可能性を感じているので、「地産地消」が遅れている(又は進まない)現状を残念に思います。



【木が見える事務所内部】

地元の木がもっと使われるためには、

現在ほとんどの建材は、プレカットされた製材、癖が出ない木材が使われています。木の癖を読んで建築することは、非常に難しく、長年の経験が必要です。地元



【地元産木材を使用した加工場】

木材を使って家を建てたいという需要は存在します。重要なことは、使用する木材について適切に説明し、理解してもらうことだと思います。

しかし現状では地元産木材を使用した住宅は多くない状況です。説明をいくら聞いても実感できない問題も発生します。弊社では見える化という点で、自社の事務所と加工場を北杜市産の木材を使用し建築しています。説明し実際に見てもらい取り組みが少しでも増えていくことで木の利用は促進していくのではと考えています。

当組合では、県産材の利用を応援していきます。

withコロナ・afterコロナに効くマーケティングとブランディング

7月21日「けんみん信組経営者クラブ」令和3年度第2回経営塾が開催されました。(株)ノウハウバンクの三科孝代表の「withコロナ・afterコロナに効く～マーケティングとブランディング～」と題した講演は、まず、大谷翔平選手が実践したとして話題になっている「マンダラート」の勧めから始まりました。マンダラートは、デザイナーの今泉氏が考案したアイデア発想法で、3×3の9マスの中心にメインテーマを書き込み、残る周囲の8マスにメインテーマから連想される言葉を書き込み、さらに、書き込んだ8つの言葉を、別の9マスの中心に8つそれぞれ書き込み、そしてまた周囲の8マスに連想される言葉を書き込んでいくというものです。

このマンダラートは、企業の人材教育に活用できるものであり、大谷選手が、目標達成のために実践して、現在の快挙につながっていることから、受け入れられやすい状況になっていると思えます。また、新商品開発時にも活用でき、多数で、意見を出し合いながら複数のマンダラートから一つのマンダラートを仕上げる使い方もできるそうです。

続いてマーケティングとブランディングについての話があり、両者に違いについては、いくつかの考え方があるが、マーケティングは買ってもらうためのものであり即効性があり、ブランディングは好きになってもらうためのものでジワジワ効くものとしています。

マーケティングについては、テクノロジーが変われば社会が変わり、産業構造が変わり、企業のチャンスも変わっていく。変化するテクノロジーに対応することで売り上げを伸ばしている企業として、自社開発アプリ等を活用したマクドナルドの例があげられました。

ブランディングについては、実践するにあたり、主要顧客(メインターゲット)、貢献点、シチュエーション(状況)を明確にすることが大切であるとし、馬具商だったエルメスが、馬から車への時代になる、そうすると、女性の社会進出が起り、働く女性が増えるから、働く女性になくてはならないバッグを作ろうと考え、働く女性に求められるバッグは、アクティブに動いても、中身がずれたり、なくなったりしないのが必要で、そのためにはバッグの口は閉じられるのがよく、口の開閉が簡単なものがよいということで、軍用品だったファスナーを使ったエルメスの「ポリード」が誕生しブランドを築いた事例では、主要顧客は働く女性で、貢献点は女性が仕事をする際の不便や不快を解消することであり、シチュエーションは、女性がアクティブに仕事をする場面に設定されているとしています。チャネル、ルイビトン、ユニクロの事例を紹介し、貢献点を考えるにあたっては「負の解消」が有効だとのことでした。



【(株)ノウハウバンク 三科代表】

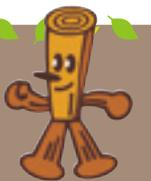
本誌のバックナンバーがご覧になれます



ご意見・ご感想をお聞かせください



県産材を使おう 木造・木質化相談窓口



モックン 県産材普及トレードキャラクター

店舗や事務所などを建築する際に、無料で木造・木質化に関する相談を受けることができます。

相談窓口: Yamanashiウッド・チェンジ・ネットワーク木造・木質化相談室

相談内容: 建築企画・設計、木材調達、各種支援制度など

※飲食店のカウンター設置から公共施設・民間施設の建築まで

TEL.055-228-7339 (一般社団法人 山梨県木材協会)



新商品紹介

おいしさにこだわった保存食 テーブルストック(株)



甲州市の食品製造会社テーブルストック(株)(中村桂社長)が開発した「TableStockおいしさにこだわった保存食」が、山梨県の「やまなしトライアル発注商品」に認定されました。この認定制度は、新商品の普及拡大(販路開拓)を支援するため、一定の基準を満たす商品等を県が認定するものです。

テーブルストックが開発した新商品は、特許を取得した独自新製法により、麺を常温で長期間保存しても袋のまま湯煎するだけで茹でたての麺のような「もちもち食感」でいただける保存食です。保存料、着色料を使用せず5年間の常温保存が可能です。「保存食は美味しくない」という理由から賞味期限が切れると廃棄されてしまう食品ロスの課題を解決するために、食卓に上がる美味しさを目指したものです。

10年かけて開発した新商品は、自立式のアルミパックに麺、具材、スープが一体化され、災害備品としてばかりでなく、登山やアウトドアのシチュエーション等でも、手軽に温かくておいしい食事ができると評判です。

購入は TableStock HPより



【カレーうどん】



【ほうとう】



【ナポリタン】



【ポロネーゼ】